



N. 903

2013. 1. 27

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
四三二一四四五八
F 四三二一四四五七

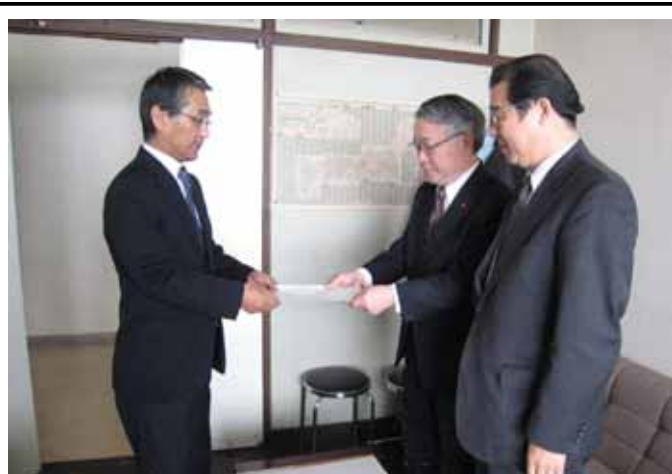
福祉灯油の

緊急要望書を提出!

日本共産党議員団は、23日の午前11時30分、市長宛に「福祉灯油事業の実施を求め」緊急要望書を提出しました。

この日は、市長、副市長とも多忙のため福祉部長と社会福祉課長が対応しました。要望書は、例年になく寒波が襲い昨年未から真冬が続いき暖房費がかかっている。

灯油価格も現在1リットル当たり99円になっている。来月には104円になるとの報道



要望書を提出後の懇談の中で、福祉部長から、市は現在「福祉灯油」の実施について検討し、2月に開催予定の臨時議会にて提案する作業を進めていると報告がありました。詳しい内容は臨時議会で示されます。

1. 社会的、経済的な困難を抱えている世帯に対して「福祉灯油事業」を実施すること。
2. 国及び北海道に対し、各市町村の取り組みに対する支援の拡充を求めること。
3. 国及び関係機関に対して、価格の適正化にむけた取り組みの強化を求めること。以上3項目の要望をしています。

天都山展望台及び流水館立替基本構想(案)について

経済・建設委員会で質疑始まる

昨年12月、経済・建設委員会に天都山展望台及び流水館立替基本構想(案)が示され、その後、委員協議会で8項目の問題・課題等が出され、それに理事者が回答したのち質疑が行われました。

ある委員からは、「大方の議論は出し尽くされている。早急に基本構想から基本設計に行くべきだ」との意見がだされたが、他の委員からは「観光シンの参加人数が少ないなどを見ても、市民が流水館建て替えについて、分からないからではないか。建替え議論だけでなく、観光への意識醸成を図るため慎重に行うべき」との意見も出されました。さらに、基本設計での地元企業の参加問題では、理事者から地元企業ではムリがあるとの見解が示されました。その他、公設民営の管理運営体制、来館者目標の根拠、公園整備事業での建替えは妥当なのか、などの議論があり閉会しました。

委員会を傍聴していた飯田・松浦両議員は「この委員会に入っていないので、発言できなかったが、我々は平成22年度からの流水館特別会計で赤字転落となった原因を厳しく指

流水

その日、午前と午後二つの町内会総会に参加後、新年会で隣に座ったTさんは、親たちが大腸がんでお世話になつた時の看護師さんだった。今は師長の立場で、過疎化される医療の現状を憂え、ぎりぎりの想いで勤め、数年後の自分の生き方で人のかかわりが難しい中、町内会で安心していられるのか?と、悩みを抱いていた。

▼原発の話題になり、「そこで働いている人、電力の代わりになる具体的なモノがない中で”脱”は難しい」と言うのだ。命を守る先端にいるNさんでさえ、命の尊厳をマスコミに惑わされてしまうのか?「そのことと別にしなければ命の尊重を語れませぬよ」と、話を転回▼Mさんは、「消費税と医療費値上げ、原発再稼働と年金値下げを反対しているのは共産党だけだよ!」と祖父に訴えて、暮れの選挙に出かけたのだ。投票の結果「頑張ったのに、自民党が勝ち、戦争が始まるの?」と、心配の電話だ▼「若い人も脱原発の声を毎週集まっあけているし、捨てたモンじゃない。気づいている人が増え続けているよ。まだまだ広げる力が足りないの」と、励ます。「共産党のチラシがあつたら配るから下さい」と。Mさんの純真さに心がときめく。次の参議院選挙につなげなければならぬ。一緒にね!(て)